



Weekly Report

創立:1980年(昭和55年)1月10日

会長:大島 浩嗣

幹事:稲葉 徹

会報委員長:高木 勝

例会日:毎週木曜日 PM12:30~

会場:ビルトン名古屋

事務局:460-0008

名古屋市中区栄1丁目3-3

ビルトン名古屋910号

TEL:052-211-3803

FAX:052-211-2623

Mail:2760nagoya@mizuho-rc.jp

URL:http://www.mizuho-rc.jp/

CELEBRATE ROTARY

2004~2005年度 国際ロータリーのテーマ ロータリーを祝おう 2004~2005年度 R.I.会長グレンE.エステス・シニア

第1228回例会

~ロータリー親睦活動月間~

2005年6月2日(木) 雨 第42回

- 司会:(入江 理会場委員)
- 体操:ストレッチング(佐藤善乙会場委員)
- 斉唱:「君が代」「奉仕の理想」
- ゲスト:ソプラノ歌手 下垣 真希様
米山奨学生 金 玫植君
青少年交換学生 スティーブン・セドラク君
(宮崎信次親睦活動委員)

会長挨拶

大島浩嗣会長

まずはじめに、5月19日瑞穂RC25周年記念式典、祝賀会、滞りなく開催する事が出来ました。25周年実行委員会の皆様、会場、親睦各委員会の皆様はじめ、会員の皆様のご協力のおかげと心より感謝御礼申し上げます。25周年記念事業の一つとして、米山記念奨学会に特別寄付をさせていただきましたが、5月号ロータリーの友に米山校友会の記事が出ていましたので少し紹介させていただきます。



これまで米山奨学金を受けた米山学友の数は、2005年3月現在11,886人に上りますが、1~2年の奨学期間で交流が終わってしまうのは不十分という事で、この様な学友の希望と地区のロータリアンの支援によって、国内23、海外2(台湾、韓国)の計25の米山奨学会学友会が設立されています。1万人を超える学友とのネットワークを強化する事は、学友からもロータリアンからも強く求められています。学友会活動は、地区と連係した親睦・交流活動が主体ですが、最近では学友らが自分達の力を生かして社会に貢献しようという取り組みも増えてきております。第2780地区(神奈川)の米山学友会では、シンポジウム「新しい地域社会への提言—国際共生への道」を第2780地区と共催で開催されます。「在日留学生・外国人も地域の一員として、日本の文化・習慣に溶け込みながら、それぞれの個性を生かした役割を果たすべきであり、国際共生への道を求めて新しい地域社会の望ましい姿をみんなで話し合おう」という趣旨のもと、パネルディスカッションには、米山奨学生、学友他、地域の中学校の教師や父母もパネリストとして参加の予定だそうです。米山奨学会としては、この様な学友会の発展的な活動を歓迎し、積極的に支援していく方針だそうです。海外学友会のうち、韓国学友会の場合、その多くが大学の教職についている事が多く、高等教育界での米山学友のネットワークを確立する事が課題の一つのようです。台湾の扶輪米山会は、1997年、台湾国内で社団法人の認可を得て、現在4つの支部を持つまでに拡大発展しております。2005~06年度の第3490地区ガバナーに、1975年~77年、徳島大学医学部徳島RCの米山学友・許國分氏が就任されるそうです。いずれにせよ12,000人近い学友の内、7,000人以上は母国、あるいは第3国で活躍している事から、帰国留学生とのネットワークづくりには、海外学友会の設立を推進する事が必要であり、かつ、継続して主体的活動を続けていく事が重要であると思われれます。

出席報告

落合 諭出席副委員長

会員76名 出席60名 (出席計算人数57名)

出席率82.46%

5月19日は補填により 100%

5月12日は補填により 91.23%

4月28日は補填により 97.87%

幹事報告

稲葉 徹幹事

- ・本日例会終了後、13時35分より6階「樺の間」にて「第12回理事会」開催致します。関係各位はご出席ください。
- ・次週6月9日(木)の例会終了後、13時35分より9回「ことぶきの間」にて「次年度予定者会議」を開催致します。関係各位はご出席をお願い致します。
- ・本日メールボックスに「RC情報マニュアル」並びに大阪南RC作成の「手続き要覧2004ダウンロード」の案内が入れてあります。ガバナー事務局よりのご案内ですので、ご活用お願い致します。
- ・5月19日(木)の創立25周年記念例会、式典並びに祝賀会とハードな一日、大変ご苦労さまでした。会員の皆様、事務局の皆様のおかげで、成功裡に開催出来ました。本当にご協力有難うございました。

6月誕生日おめでとう

平野哲始郎君 嶺木 一夫君 遠山 堯郎君
松波 恒彦君 倉澤 寛君 長坂 邦雄君

臨時例会変更のお知らせ

名古屋西		6/23(木)	6/30(木)※
名古屋南		6/22(水)※	
名古屋北	6/17(金)※		
名古屋守山		6/22(水)	
名古屋東南	6/15(水)		6/29(水)
名古屋中			6/27(月)
名古屋名東	6/14(火)		
名古屋名北	6/15(水)※	6/22(水)※	6/29(水)
名古屋千種		6/21(火)※	6/28(火)
名古屋大須	6/16(木)		
名古屋名南		6/21(火)◇	
名古屋名駅			6/29(水)
名古屋昭和			6/27(月)
名古屋西南		6/23(木)	
名古屋錦			6/28(火)◇
名古屋東山		6/23(木)	
名古屋空港			6/27(月)
あま		6/20(月)※	
西春日井	6/14(火)		
尾張中央		6/22(水)	

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◇はサイン受付時間が17:30~18:30となります。

・昨日6月1日は68回目の誕生日でした。バースデーカードを有難うございました。 **平野哲始郎君**

・今日は誕生日です。本音は来て欲しくない誕生日です。 **遠山 堯郎君**

・5月30日、結婚記念日でした。 **田中 隆義君**

・6月10日は結婚記念日です。 **館 健吾君**

・5月16日は家内の誕生日でした。 **増田 盛英君**

・妻の誕生日には、お花を有難うございました。しっかり値札が付いていました。 **平野 好道君**

・先日の創立25周年記念事業はご苦労様でした。無事終了する事が出来ました。皆様方のご協力で心より感謝致します。 **野崎 洋二君**

・5月19日の25周年記念例会には、会員の皆様のご協力により成功裡に終わりました。大変有難うございました。

25周年実行委員会一同

・5月19日、25周年万博例会、式典、祝賀会には25周年実行委員会の皆様、会場、親睦の各委員会の皆様をはじめ、会員の皆様のご協力を得て、滞りなく開催する事が出来ました。 **大島 浩嗣君**
・ウェルカムパーティーからさよならパーティーまで、参加ご協力有難うございました。 **国際奉仕委員会 岩本 成郎君**

・25周年事業、大島会長、野崎委員長はじめ、関係各位、ご苦労様でした。 **湯地 輝雄君**

・5月19日(木)、創立25周年記念例会、祝賀会、会員の皆様のご協力により、無事成功裡に終了致しました。本当に有難うございました。 **稲葉 徹君**

・野崎さん、大島さん、5月22日・23日はお世話になりました。 **田中 政雄君**

・25周年記念式典、実行委員会の皆様ご苦労様でした。 **鈴木 圓三君**

・25周年は大島会長、野崎委員長以下、委員の方々、非常にご苦労さまでした。

中川啓二朗君 岡本 忠史君 宗宮 信賢君

・先日、友人にご馳走になり、小遣いも頂きました。そして来月には北海道旅行にも招待されました。理由は、競馬の天皇賞の馬券で、2,100万円取ったからです。 **松波 恒彦君**

・ゴルフ例会に初めて出させて頂き、有難うございました。 **松岡 道弘君**

・5月27日は私の誕生日でした。また、偶然にもロータリーゴルフコンペで優勝してしまいました。有難うございました。 **堀 慎治君**

委員会・同好会報告

25周年実行委員会：野崎洋二委員長

過日の25周年記念は、皆様の多大なるご協力とご尽力に寄り、お陰様で好評の内に終了致しました。これもひとえに大島会長をはじめ、実行委員会、その他委員会、並びに会員の皆様のおかげと心から感謝申し上げます。記念事業の一つ、アフリカ・ウガンダへの学校建設ですが、8月後半には完成・受け渡しの目処がたっております。その際、当クラブから有志を募り、式に参加出来ればと思っています。詳細は後日改めてご説明致します。大勢の参加をお待ちしております。

米山奨学委員会：吉木洋二委員長

米山奨学会より米山記念館が出来て35周年を記念して、「超我的人 米山梅吉の足音」という記念誌が出来ました。事務局に保管されますので、興味のある方はご覧いただきたいと思っております。購入を希望される方は、2,500円となります。

ロータリーデーについて：大川嘉成君

只今開催中の愛知万博・ロータリー館において、6月30日(木)「ロータリーデー」という事で午前9時～午後9時まで解放をしております。朝はモーニング、夜はビールなど用意されております。是非ともご家族連れでお越しください。また万博の当日券が4枚、事務局に届いております。ご入り用の際は事務局までお申し出ください。

次年度委員会計画・方針提出について：鈴木幹雄次期幹事

次年度の各委員会委員長にお願い申し上げます。本日締め切りで各委員会の計画、方針をお出しいただく事になっておりますが、まだ出されていない方は、明日までに事務局にFAXでお送りください。来週の予定者会議におきまして、皆様に発表して頂く際の資料と致します。宜しく申し上げます。

最後の挨拶：スティーブン・セドラク君

6月19日(日)に帰国をしますスティーブン・セドラク君より、本日で例会出席が最後になりますので、お礼の挨拶があります。「今日で最後の例会となりました。皆さんお世話になりました。」

卓話

ソプラノ歌手 下垣真希様

皆様こんにちは。私は以前、国際ロータリーの奨学生としてドイツに留学しておりました。8年程ドイツで過ごし、帰国して15年経ちますが、そのつながりを絶たないために、大学でドイツ語の授業を受け持っております。

さて、ドイツで暮らした8年半ですが、いろいろと驚かされる事がありました。ドイツは同じ敗戦国ですが日本と違い、回りは全て違う国に囲まれ、社会主義国に一番近い国として、緊張感と危機感が非常に強い国でした。兵役の義務があり、兵役を拒否する場合でも、福祉施設などでのボランティア活動に従事する義務があります。ドイツ人が欠かさず行っている習慣として、日曜日には必ず家族全員で集まり、きちんと話をするという機会をずっと持ち続けている事です。また、子供をしつける際にも一貫した考え方があります。欲しいものがあれば「〇〇をお願いします」、なにかしてもらったら「ありがとう」、私がちょっと厳しいのではないかと口を挟みますと、「子供は動物と同じ。それを人間として社会に出るのが私達の義務」と厳しくいわれたのを覚えています。そして「犬も子供も、昨日良いといった事を今日駄目と言っても聞かない。一度駄目と言ったら、どんな事があっても駄目と言わないと、混乱の元になる」と言われました。一度黒といった事は黒のまま通すのがドイツ人なのだと思います。

ベルリンの壁が崩壊する際、その中心となって動いていたのが若者でした。そしてその若者達と行動を共にする、音楽家達の姿を見ました。私たち音楽家は、愛や平和などを伝えるために音楽活動を続けています。ドイツの音楽家達は、常にその心を忘れずにいたのです。その姿を見て、私も音楽を通して、平和や平等のために何か出来ないかと考えていました。そして日本へ帰国し、「長崎の鐘」という歌に出会ったのが私の活動の支えとなっております。

「長崎の鐘」の原作者である永井隆先生は、長崎医大の先生でした。あの原爆で被爆し、ご自身も大きなけがを負われました。爆心地に近いご自分の家は跡形もないと分かっていました。ようやく帰った我が家には、奥様の骨はほとんどなかったという事です。戦後、深い悲しみを背負い、病に冒されながらも執筆活動を続け、「人を憎む事は辞め、人を愛そう、そして世界に平和が訪れるように」と訴え続けられました。実は私の叔父が医学生の時、永井先生のお宅へ下宿しておりました。授業中に被爆し、やけどを負いながら、逃げる途中に放射能に汚染された水を飲みました。体の内と外を放射能に冒され、やけどを負いながらも故郷にたどり着きました。ですが持ちこたえる事は出来ず、17年の短い生涯を閉じました。私達は生きる事は当たり前と思っています。ですが生きたくても生きられない時代があったと言う事を、叔父を通して感じる様に思います。それを何とか伝えたいと思い、大学の授業で原爆や特攻隊のビデオを見せて、命の重み、平和の尊さを問いかけ、歌では「長崎の鐘」を歌う事により、皆さんにもう一度平和への感謝と、忘れないでいたい戦争の歴史を伝えていきたいと思っています。

今週卓話

6月9日(木)

会員卓話：小串和夫君

テーマ：「思いつくままに…」

次週行事

6月16日(木)

第5回CF(年次総会)